

年2回(新年・夏季)配信

『高度商品化社会』をこえて

『社会を裾野から変えるのは女性たち。その陰にキラッと光る男性のサポート。そんなことを感じたのは今年初めです。昨年末から今年春にかけて地域の女性リーダーを養成するといった講座がありました。コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスとはまた違う世界。

個人的な「小さな社会貢献」と言えばそうですが、強い思いと行動力に脱帽。そして彼

女たちの話から気づくのが、陰ながら応援する男性たちの存在。相談を熱心に聴き、コンシェルジュ的働きをする行政職員、活動を暖かく見守る町会長、そして、妻の活動を妨げない夫。

このところ再び「女性」がクロージアアップされていますが、それだけに男性の役割もまた大。男性のみならず、がんばる女性に出会ったら、どうぞキラッと光るサポートを。

『おもしろ商品学』、今は絶版になっているようですが、診断士の勉強をし始めた1992年頃、必読書の一冊にあげられていた本です。その中で書かれていた「高度商品化社会」。世の中のありとあらゆるものが商品化される社会。そう説明されていました。

本を読んだ当時でも十分「高度商品化社会」と感じましたが、今はその比ではありません。2001年頃にネットを活用したコンサルタントのエージェント会社を大阪で起こした人がいますが、今からすればほんのハシリ。創業者が人づてに当所を訪れ、登録をお願いされたものです。

間をとりもつ、つなげるとITとが相性がいい。そんなサービスが今は際限なく生まれる勢い。これからはものづくり自体も個人の手元におりてきそうですが、社会の上から下までと言っていいのか、大から小まで、はたまた、表から裏まで、それこそ、ゴミ箱に捨てられたメモさえ題材に情報技術を駆使して商品化される、そんな様

相です。

本人の才覚しだいで、コストをかけずに、世界を相手に活躍する可能性が広がる。この名目は了解しつつ、そのためには多くの場合、ネットのインフラに乗らなければいけない。はたして、この先にある社会は…?

『世界は、ごく僅かな“主人”とその他おおぜいの“召使”の構図になる』と象徴的に語る人がいます。一般のわたしたちには気づかないところでそうなっていくように感じます。自由なようで束縛されていて、独立性、主体性の次元も変わりそうです。

時代や社会の大きな流れ。それに目配せしつつ、埋没はせず、かといって拒絶せず、今の状況がこれらかどのような意味をもってくるのかと考える。その末に再認識するのが、結局、社会がどう流れようと、自分の流れを創ること。“未知”の『高度商品化社会』をこえて、独自、独創は永遠のテーマだと思う夏本番です。

ほどよい切迫感で未来に段取り

4月1日リニューアルホームページに掲載した「経営略系コンサルティング」。これまでの積み重ねに、新しいエッセンスを加え、独立したメニューとしました。自分で自分をマネジメントしなければいけない、しようとする経営者や起業家などを対象に、針路と進退のタイミング計る、ひとつの指標を提供

するものです。

よく引用する『日常業務は戦略的業務を駆逐する』とならないよう、経営・人生を鳥瞰し、“終わり”を決めて、前途の段取りをつける。少々切迫感を誘うコンサルですが、それもまた快感なはずで、自分で事を起こす、自分でマネジメントしようとする人には。

LEE'S リーズ
http://www.leeslee.com
〒530-0012
大阪市北区芝田2丁目8-15
北梅田ビル35号
リー・ヤマネ・清実